

全国霊柩自動車協会総会に出演して

眞の 1 豊 昌美

「赤飯もスープもいっぱいあるよ。」

お重に詰められた色も鮮やかな赤飯と、大鍋に入った赤川会長お得意の豆乳入りクラムチャウダー。そして次から次へと現れるお料理を前に、ついつい顔も腹もほころんでしまいます。

ここはサントピアワールド前のある神社。境内をちよいとお借りして、これから向かう出演のためにと腹こしらえです。

「こりやあ美味しいわ。」

「良いステージになりますように。」とお参りも忘れず、一路月岡温泉華鳳々に向かう保存会一行なのであります。

眞の 2 飯塚 和代

平成30年6月5日、全国から集まる年一回の全国霊柩車協会総会のアトラクションに出演してきました。横村前民謡保存会会長の地元新潟を代表して当民謡保存会が選ばれた所以です。地方、立ち方14名、出演は夕方6時30分だったので余裕を持つ

ての午前出発となり所々への寄道をした旅路でした。曲目は米山甚句、佐渡おけさ、出雲崎おけさでした。本番では笛吹きで、人前ではまだ一人で吹けない私があり、歯がゆくも皆様には迷惑をかけている。

保存会の会員になった理由は、以前理事をしているだけでは何か物たりず、夏のぎおんに出たいとの思いで始めたのがきっかけでした。子供の頃から耳にしているいくつかの民謡は、リズム、歌、調子の廻しが自然に入り込み、笛も繰り返してかなでる音は、洋楽にはない楽しみがあります。

この年になつて思うことなのかもしれません。歌、踊り、三味線、太鼓、笛が一つになった時は最高の思い出となります。

今回は宴会のアトラクションでしたが、新潟県民謡の佐渡、出雲崎、柏崎をアピールできた日となりました。まだまだ未熟者ではありますが練習に勝るものはないと信じて、いくつまでできるかわかりませんが一人でもこの大切な柏崎の民謡、たえることがなく受けつがれることを願っています。

山海里 四季の柏崎
米山さんがみまもる月の町

東京新潟県人会 新年祝賀会に出演して

福島 一利

平成三十年一月二十日椿山荘での祝賀会のアトラクションに出演いたしました。保存会員の約二十名がアルフォールを早朝五時半に出発、一路椿山荘へと渋滞もなく予定より早く会場に到着しました。

出演まで時間がありましたので椿山荘の庭で記念写真を撮ったり、ロ

ビーで県内の物産が販売されていたので見学したりしてステージ出番まで時間を過ごしました。

祝賀会会場には千人位の人々が集っていました。私達は柏崎の民謡「三階節」を披露いたしました。曲が始まると、中には何人かの方々がステージ前に集まり踊りに見入っていました。出演も無事終わりバスは帰路につく。皆さんも大役が終わったせいか車中は賑やかに話もはずみ楽しいバスの中でした。

私も又、機会があれば参加したいと思いました。

法人会懇末記

坂井 文繪

昨秋、柏崎法人会女性部から三階節を教えてほしい旨依頼があった。「女性部合同セミナー」で踊るとのこと。アルフォールを練習場に、素人でも踊り易い足の使い方などを工夫し冗談も交えながら明るい雰囲気の中で進めた。休憩時の快談の中で担当者がびつくりするのを言い出した。練習時間の延長これは了承とセミナー当日の演目は？と聞かれ、エッ何、出演するの？そんな話全然聞いてないんだけど！三階節を一時間教えるだけの話だったのに。

ま、口喧嘩するわけにもいかず赤川会長判断に任せた。三階節の指導イコール出演も含むものと担当者は思い込んだのだろう。悪びれる様子がないのが摩訶不思議なり。

メトロポリタンでのセミナー当日、最後に会場の皆さんと一緒に上手と下手に大きな輪となって三階節を踊ったが皆さんのとても楽しそうな笑顔が会場を多に盛り上げていた。私達も脇役ながら女性部の方々と談笑しながら和と輪を大きくすることに心をくいだいた。この成行きはともかく終わり良ければすべてよしと大人の対応を学びました。

過日、女性部の方に御会いた際、過分なお言葉を頂いたことを申し添えておきます。

楽しかった仮装盆踊り大会

柏崎民謡保存会後援会
理事 伊部多美子

昨年八月二十六日、柏崎民謡保存会仮装盆踊り大会に初めて参加して準優勝を頂きました。NHKのチョコちゃんに叱られるのチョコちゃん五歳の仮装をし、民謡も大好きなので一生懸命踊りました。今年の夏は猛暑に見舞われ、八月の暑さを吹き飛ばす如く楽しく参加させて頂きました。民謡保存会の踊り手の方々もサザエさん一家の仮装し可愛らしく見応えもあり盆踊り大会に花を添えました。民謡や舞は『古事記』や『日本書紀』に記されている通りアマテ

ラスオオミカミが怒り、天岩屋戸にこもつたため天地は暗黒となり、さまざまな災いが起つた。アメノウズメノミコトに舞を舞わせ大神を岩屋戸から招き出した神話が何千年もの間、この日本の各地に民謡や舞という形で現在に残っている。柏崎民謡保存会が今後も皆様の心に残る活躍が出来ます様に「ホーッと生きてんじやねーよ！」と言われぬように伝統を守る人になりたいと再確認しました。4才の孫も魔女の宅急便のキキの仮装をしましたが賞は頂けませんでしたでしたが楽しかったと有意義な時間を過ごせた様です。役員の皆様、暑い夏の夜にもかかわらず大変お疲れ様でした。ありがとうございました。



一社よりの取材を受ける

民謡研究会ゆたたち
会主 佐藤 千春

昨年六月中旬頃、東京民謡研究会の佐藤千春さんより、冊子作成の為の米山甚句の取材依頼があり、七月九日に取材を受けました。



読売新聞上越支局
記者 林田 春樹



十一月十九日に読売新聞上越支局記者の林田春樹さんより取材を受けました。柏崎民謡保存会の活動状況の取材を受け、十一月二十七日の新聞に紹介していただきました。広いスペースで写真と一緒に中味の濃い記事を載せていただき感謝と感謝です。ありがとうございました。